(3) 情報発信·調査研究

① 図書・資料室の活用

(ア)事業概要

男女共同参画社会づくりに関するさまざまな情報・図書資料の収集を行い、図書・資料室において 提供するとともに情報を発信した。センターの利用者をはじめ大学や近隣の公立図書館を通じて、男 女共同参画の推進に取り組む団体や研究者、市町の担当部門など幅広い層に向けて、専門図書室 としての利用を呼びかけた。

また、講座や講演会等の参加者に対して関連テーマ・著者の図書を紹介する出前ブック案内、県内各大学等への関連書籍リストの配付など、男女共同参画の学習・研究支援や図書・資料室の利用拡大に向けた積極的なPRを行った。

7.1	開室日数	282日			
利用	来室者数	6,420人	令和3年度末蔵書数	58,555冊	
状	貸出人数	1,315人	出前ブック案内回数	48回	
況	貸出冊数	6,749冊			

(イ)「図書・資料室だより」の発行

それぞれの時期に応じたテーマで、お薦めの図書資料や映像メディアを紹介する情報誌「図書・資料室だより」を毎月発行した。 毎月県内の図書館 63ヶ所へ送付

発行月	テーマ	発行月	テーマ
4月	知ってる? LGBTQI	10月	自分らしく生きる
5月	アンコンシャスバイアスを知る	11月	「女性に対する暴力をなくす運動」
6月	「女だから、男だから、ではなく	12月	夫婦関係
	私だから、の時代へ」	I 月	新着図書☆案内
7月	おすすめ絵本	2月	男の生きづらさ・不自由さ
8月	信念をもって自分らしく	3月	世界の女性たちの声を集めました
	生きる女性たち		
9月	「しあわせ老後」をめざして		

(ウ) NWECパッケージ貸出の活用

NWEC(独立行政法人国立女性教育会館)が提供する男女共同参画をテーマとした図書パッケージ貸出しサービスを活用し、専用コーナーを設けるなど、図書・資料室の積極的なPRを行った。



G-NET しが NWEC 図書貸出しコーナー



図書・資料室だより 令和3年 10 月号

(エ)蔵書と利用状況

年度\項目	購入等冊数	利用者数	貸出人数	貸出冊数	貸出券発行数
昭和61年度	4,545	3,365	貸出はS62年	F度より開始	
昭和62年度	3,912	12,369	516	887	11455
昭和63年度	3,423	11,731	2,698	4,727	H4年度より 図書管理
平成元年度	3,102	17,085	2,785	4,845	システム導入
平成2年度	2,827	15,525	3,731	6,389	
平成3年度	4,149	28,486	5,476	9,453	
平成4年度	5,752	46,958	7,592	17,152	1,519
平成5年度	5,214 (35)	60,284	10,376	28,823	1,549
平成6年度	3,718 (32)	50,453	10,809	29,865	1,427
平成7年度	3,079 (14)	63,399	10,849	30,668	1,489
平成8年度	4,038 (20)	63,202	11,996	34,546	1,404
平成9年度	3,300 (4)	47,823	11,676	34,087	1,028
平成IO年度	2,897 (31)	46,780	9,225	27,399	773
平成 年度	2,951 (30)	44,915	8,227	24,305	671
平成12年度	2,722 (15)	42,825	7,431	21,807	666
平成13年度	2,877 (62)	48,080	7,269	21,438	593
平成14年度	2,279 (36)	47,960	7,046	20,558	546
平成15年度	2,612 (46)	56,685	7,413	21,047	515
平成16年度	2,398 (48)	50,080	6,762	19,914	473
平成17年度	2,488 (52)	55,045	6,006	17,389	369
平成18年度	2,201 (26)	54,570	6,177	17,658	339
平成19年度	2,364 (19)	54,410	6,335	19,356	282
平成20年度	341 (15)	48,020	4,553	14,404	257
平成21年度	634 (6)	20,456	3,295	10,716	219
平成22年度	965 (12)	13,505	2,745	9,798	735
平成23年度	1,302 (44)	18,195	2,541	9,078	396
平成24年度	863 (3)	12,357	2,368	9,102	331
平成25年度	622 (16)	12,252	2,162	9,051	254
平成26年度	866 (4)	12,197	2,005	7,702	213
平成27年度	768 (5)	11,907	2,118	7,672	228
平成28年度	787 (2)	10,508	1,933	7,491	169
平成29年度	697 (4)	11,807	1,755	7,265	189
平成30年度	703 (5)	12,541	2,160	9,803	201
令和元年度	800 (0)	13,266	2,061	9,318	161
令和2年度	591 (0)	5,520	1,322	6,242	87
令和3年度	455 (3)	6,420	1,315	6,749	86

令和3年度開室日数 282日

令和3年度末蔵書数 58,555冊

図書等の収集基本方針

男女共同参画社会の推進を図るため、その学習・研究に必要な情報(図書・行政資料・ミニコミ誌・ビデオ等)を収集する。

特に次に掲げる項目に重点をおいて収集する。

- ①男女共同参画に関する図書・資料
- ②女性問題、男性問題、ジェンダー(社会的性差)史に関する図書・資料
- ③滋賀の男女共同参画、女性に関する図書・資料
- ④女性団体や地域・グループ・企業など男女共同参画関係団体が発行する図書・資料
- ⑤女性労働・教育に関する図書・資料
- ⑥ジェンダーに係る人権、平和、開発、環境に関する図書・資料
- ⑦外国の女性に関する図書・資料(当面は翻訳本のみ)
- ⑧上記に関する幼児・児童・生徒用図書

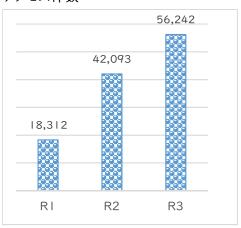
② ホームページ・メールマガジン

《ホームページの運営》

随時更新



アクセス件数



《メールマガジン「きてみ~な」》

毎月1日に配信

G-NET しがメールマガジン <NO.215 号> 2021/10/1

~フレッシュな「さんかく情報」をお届け!~ き て み ~ な

http://www.pref.shiga.lg.jp/g-net/ 秋冷が爽やかに感じられる、いい季節を迎えました。

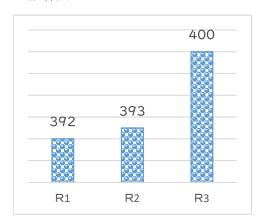
食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋…。 皆さまどんな秋をお過ごしでしょうか。

--------**

【目次】

- 1)トピックス
- 2)講座・交流イベントのご案内
- 3)女性のチャレンジ支援情報
- 4)G-NET シネマのご案内
- 5)図書・資料室のご利用案内
- 6)男女共同参画関連情報

配信者数



③ 情報誌『G-NET しが』の発行

- ◇ 年2回発行(II 月·3月)
 - ·A5版全 16ページ
 - ·発行部数: 41号 6,000部 42号 6,000部
 - ・送付先:特集テーマにより決定。(主な送付先:各都道府県・政令指定都市、県内外男女共同参画センター、県内市町、保・幼・小・中・高・大学・専門学校等の教育機関、図書館、公民館などの公共施設、企業、商工関係団体等)
 - ・内容については、男女共同参画の現代的な課題を特集テーマとして組み、センター事業や女性活躍推進課からの情報などを県民の皆さんの目線でわかりやすく掲載。

◇ 特集のテーマ・内容

VOL.41

- ·G-NET しが女性の起業応援センターオープン 【特集】私たちがすごしやすい学校・社会をつくる 「ジェンダー平等子ども会議」
- ユースリーダー事業
- ・講座レポート
- ・滋賀県女性活躍推進課よりお知らせ
- ·男女共同参画相談室·MJS情報



VOL.42

- ・スポーツから考える男女共同参画
- ·G-NET しがフェスタ
- 男性の家事育児参画
- ·新育児休業制度
- ・男子絵の生きづらさを考える
- ・講座レポート
- ・女性史研究の意義
- ・女性活躍推進課からのお知らせ
- ·男女共同参画相談室·MJS情報





事業名	G-NETしがフェスタ								
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター (共催)G-NETしが推進員、しがWO・MANネット団体、 チャレンジ登録者、一般県民								
目的	県内の団体・グループ等が自主的に企画運営する交流事業の支援								
対象者	G-NETしが推進員、しがWO・MANネット団体、チャレンジ登録者、一般県民								
日時	日時 令和3年 月28日(日)								
内容	テーマ 「みんなで笑顔になろう!2021」 オープニング ★手話シンガーソングライターとジンケンダーショー ★ミニステージ『親子でマジック! ~マジックショーと簡単マジック講座~』 ★ミニリサイタル ★講演会『笑ろてる家族がええやん! ~子どもの「生きる力」を伸ばす関わり方~』 ★滋賀大学学生による啓発発表 クロージング 各団体によるイベント チャレンジ登録者による出店 1名								
場所	滋賀県立男女共同参画センター								
参加者数	女性 234 人 男性 96 人 その他 0 人 計 330 人								
参加者の 感想	・yokkoさんの手話のオープニングが非常に魅力的で良かったが、参加者が少なかったのが残念。 ・コロナの関係で出店も少なくて残念です。 ・学生さんが盛り上げてくれました。 ・家でもできる遊びなので、またやってみようと思います。								















事業名	6センター連携事業							
事業形態	(共催)滋賀県立男女共同参画センター、大津市男女共同参画センター 彦根市男女共同参画センター「ウィズ」、草津市立男女共同参画センター 高島市働く女性の家、米原市男女共同参画センター							
目的	地域住民への男女共同参画の意識啓発を図るため、男女共同参画週間(6月23日~29日)の時期に合わせ、県と大津市・彦根市・草津市・高島市・米原市の県内5市の男女共同参画センターが連携して啓発事業を行う。							
対象者	地域のリーダー、NPO等団体リーダー、市町男女共同参画担当者、G-NETしが推進員 しがWO・MANネット団体、一般県民							
日時	日時 令和3年 6月23日(水)~8月31日(火)							
内容	テーマ 「自分らしい生き方」考えてみませんか 「さんかく週間講座・イベント」 ・大津市男女共同参画センター 男女共同参画ブックフェア 映画上映会「アンダンテ〜稲の旋律〜」 アンガーマネジメント講座 親子のほっとサロン ・彦根市男女共同参画センター「ウィズ」 公開講演会「知ってみよう!自衛隊」 啓発パネル展 男女共同参画川柳 ・夏休み子ども向けイベント」							
	性と生について学べるきっかけコーナー 滋賀県立男女共同参画センター、大津市男女共同参画センター							
場所	意根市男女共同参画センター「ウィズ」、草津市立男女共同参画センター「あい・ふらっと」 高島市働く女性の家、米原市男女共同参画センター							
参加者数	女性 I 18 人 男性 44 人 その他 O 人 計 246 人 ※男女の統計のあるセンター分のみ男女その他を記載							
参加者の 感想	・知識が増えました。・今、妻が妊娠中で、育児について資料を拝見してすごく参考になります。・親子イベントをもっと開催していただければ嬉しいです。・おもしろかったです。							









事業名	G-NETカフェ								
事業形態	(主催)滋賀県立男女共同参画センター (共催) -								
目的	男女がともに幸せを感じ、暮らしやすさを実感するため、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させ、多様な主体と連携し、日々の暮らしが抱える課題について情報共有し、ともに考え、つながり、活動の輪を広げる場として開催する。								
対象者	産前・産後休業中の方、育児休業中の方、育児休業からの復帰者、育児休業取得予定者およびそのパートナー								
日時	日時 令和4年 3月6日(日)10:00~12:00								
	「不安をできるに変えよう しごとも家庭も大切にしたい人のための 育休復帰後の両立セミ ナー」								
内容	講師 石倉 和美 さん								
	講師所属等 ポジティブトランジション								
	オンラインでの実施。託児を利用してのご参加の方やオンライン受講の仕方に不安のある方は、センターで受講していただいた。講義だけでなく、グループワークを多く取り入れいただいたことで、参加者同士での交流ができ、お互いによい刺激になっていた。職場復帰に向けて不安をお持ちであったが、講師の講義や先輩ママからの体験発表、交流を通して復帰に向けての準備を進めていこうとする気持ちを高められていた。また、講師や先輩ママへの質問タイムを通して、まさに今、悩んでいることにすぐに答えてもらう機会となり、具体的なイメージをもって復帰後への意欲を高めていただいた。								
場所	滋賀県立男女共同参画センター 多目的スペース ZOOM								
参加者数	女性 16人 男性 1人 その他 0人 計 17人								
参加者の感想	・今回とても為になるお話ありがとうございました。私自身はパートで復帰予定のため家事育児は夫に頼めない状況ではありますが、その他家電(ルンバ)などは前向きに検討したいなと思っています。また、後半で実際に育休明け、復帰された方のお話を聞かせていただき、何事もとりあえずまわればOKというような考え方でないと自分で自分を苦しめるのかなと思いました。石倉さんには、育休中何度かセミナーでお世話になりました。私もいよいよ4月から復帰となるため、今後は復帰後のフォローをいただけるようなセミナーがあればうれしいです。 ・上司向けのセミナーを各地で開催希望します。 ・すごく参考になりました。あきらめずに家族で今後について話し合っていきたいと思います。								







事業名	G-NETカフェ 自分らしく生きるための読書会(一般)								
事業形態	(主催) 創業未来会議室					(共催) 滋賀県立男女共同参画センター			
目的	男女がともに幸せを感じ、暮らしやすさを実感するため、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させ、多様な主体と連携し、日々の暮らしが抱える課題について情報共有し、ともに考え、つながり、活動の輪を広げる場として開催する。								
対象者	どなたです	ŧ							
		テー	マ 「ボーダー	ーレスに生	きよう	!!~ジェンダー	- × 自分らし	ノさ~」	
			ファシリテーター	- 松本 邪	催宏さ	h			
		開催日			各回テーマ				
	令和	令和3年	4月23日	(金)		「男	女共同参画と	:は?」	
日時			5月28日	(金)		「ジ	エンダーって	何?」	
			6月25日	(金)		「だれもぇ	が生きやすい	社会とは」	
内容			10月22日	(金)		「 性	生について知る	ろう 」	
			11月26日	(金)		Г	る様性ってな!	د? ي	
		令和4年	1月28日	(金)		「女性	活躍を進める	には?」	
			2月25日	(金)		「自分に	できることを	考えよう」	
			3月25日	(金)		「ワーク	・ライフ・バラン	ンスとは」	
	読書会とは、図書資料室でテーマに合った本を選書してもらい、参加者は本をじっくり読む必要はなく、ざっと目を通して本から気になった言葉を付箋に書き出し、それぞれ選んだ言葉と選んだ理由を話していく。								
場所	滋賀県立	男女共同参	家画センター 言	 冓習室					
参加者数	女性	18	人男性	7	人	その他	0人	計	25 人

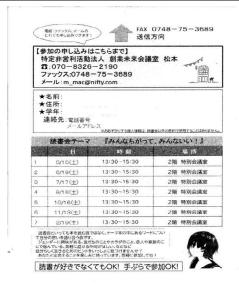






事業名	G-NETカフェ 自分らしく生きるための読書会(ユース)							
事業形態	(主催) 創業未来会	議室	(共催) 滋賀県立男女共同参画センター					
目的	男女がともに幸せを感じ、暮らしやすさを実感するため、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させ、多様な主体と連携し、日々の暮らしが抱える課題について情報共有し、ともに考え、つながり、活動の輪を広げる場として開催する。							
対象者	学生・若者をはじめ、	どなたでも						
日 内容	学生・若者をはじめ、どなたでも テーマ 「みんなちがって、みんないい!」 ファシリテーター 松本雅宏さん 開催日 令和3年 5月15日 (土) 6月19日 (土)							
場所	滋賀県立男女共同参	≷画センター 特別会詞	議室					
参加者数	女性 19人	男性 6	人	その他	0人	計	25 人	







事業名	G-NETカフェ							
事業形態	(主催)男女共同参画をすすめる会·I YOU淡海 (共催) 滋賀県立男女共同参画センター							
目的	男女がともに幸せを感じ、暮らしやすさを実感するため、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させ、多様な主体と連携し、日々の暮らしが抱える課題について情報共有し、ともに考え、つながり、活動の輪を広げる場として開催							
対象者	幼児親子							
日時	〇日 時 令和3年 7月2日(金)10:00~12:00							
	テーマ「親子で楽しく七夕を楽しもう♪笹飾りに願いを込めて」							
	< 参加者 9名(女性6名、男性3名) >							
内容	〇日 時 令和3年 2月3日(金) 0:00~ 2:00							
	テーマ「手作りリースでクリスマスを飾ろう」							
	< 参加者 9名(女性9名) >							
	7月は、親子で一緒に折り紙や色画用紙を使って七夕飾りを作ったり、短冊に願い事を書いて飾り付けたりした。ハサミやのりを使うのがはじめてのお子さんもいて、丁寧に支援したり、優しく声かけをしたりしながら進め、全員七夕飾りを作ることができた。七夕にちなんだ歌やペープサートもあり、2時間という子どもたちにとっては長い時間だったが、楽しく参加できるように工夫されていた。 12月は、お子さんと離れて、リース作りを通して、他の参加者と交流する機会を作り、子育ての悩みの共有など何気ない会話で息抜きのできる場づくりが提供された。							
場所	滋賀県立男女共同参画センター 研修室A							
参加者数	女性 15 人 男性 3 人 その他 0 人 計 18 人							
主催団体の感想	・はじめのペープサートを、食い入るように見てくれていたので、小さいお子さんにはよかったように思う。 ・お子さんから離れてリースづくりに専念できることが、お母さん方にとっては息抜きになったと喜んでくだ さった。 ・始めはリースづくりに一生懸命で静かな空間だったが、少しずつリース作りの話から会話が始まり、普段 のお子さんの様子など何気ない会話ができ、こういう機会を作ってほしいという声をいただいた。 ・お母さんの息抜きができる場所として次回も取り組みたい。							







事業名	G-NETカフ:	Ľ						
事業形態	(主催)男女共同参画をすすめる会・I YOU淡海 (共催) 滋賀県立男女共同参画センター							
目的	男女がともに幸せを感じ、暮らしやすさを実感するため、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させ、多様な主体と連携し、日々の暮らしが抱える課題について情報共有し、ともに考え、つながり、活動の輪を広げる場として開催							
対象者	子育て中のカ	ちをはじめ、ど	なたでも					
日時	,	育て中のあな 和3年 2月		「自分時間」):30~12:00)			
内容	〇 令	和4年 3月5	日(金)10:	30~12:00				
	12月は、おとなのためのおはなし会、図書・資料室の案内の後、自由に図書・資料室での時間を過ごしたり、折り紙でクリスマスオーナメント作りをして楽しんだりするなど、ゆっくりとした時間を過ごすことができた。 3月は、おとなのためのおはなし会、図書・資料室の案内の後、思い思いに図書・資料室で過ごされる方が多かった。最後に折り紙でチューリップ作りをされ、お子さんと離れて、自分の時間を過ごされていた。特に3月は、絵本を男女共同参画の視点で読んでみるとさまざまなことに気づくといった内容であり、参加者が男女共同参画の視点で絵本に向き合うきっかけになった。							
場所	滋賀県立男	女共同参画セ	ソター 研修	室A				
参加者数	女性	14 人	男性	1人	その他	0 人	計	15 人
参加者の 感想	・図書館に行 が手に取って ・土曜日の午	「見られて良か 前中が一番	といると、どう いったです。 良い時間帯な	いても子どものなので今日の。	ようなものを	よってしまうので 今後も期待しま 考になると思い	す。	の気になる本





